

東京から南に約1,000km離れた太平洋上に位置する大小30余りの島々から構成される小笠原諸島は、今年6月、日本に復帰してから50周年を迎えます。

本シンポジウムでは、我が国の排他的経済水域の約3割という広大な海域を確保する小笠原諸島の位置付け等を確認するとともに、戦前から戦後を中心とした小笠原諸島の歴史を振り返り、今後の小笠原諸島の一層の振興を展望します。皆様のご参加をお待ちしております。



父島・二見湾遠望

概要

主催者挨拶

ガイダンス **菊地 俊夫** 首都大学東京 都市環境学部教授
「小笠原諸島の概要、振興開発とその取り組みを中心として」

基調講演① **石原 俊** 明治学院大学 社会学部教授
「小笠原諸島が歩んできた特異で複雑な歴史」

基調講演② **山田 吉彦** 東海大学 海洋学部教授
「海洋資源保全等の面において小笠原諸島が果たす役割」

パネルディスカッション

コーディネーター／菊地 俊夫
パネリスト／石原 俊、山田 吉彦、森下 一男（東京都小笠原村 村長）

申し込み方法 ※申込期間 4月9日(月)～5月9日(水)

HPの場合：下記URLよりお申込みください。

http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/guidance/50th_anniversary.html

FAXの場合：下記番号へ必要情報（シンポジウム名、氏名、住所、連絡先）を明記のうえお申込みください。【FAX】03-6804-1348

※応募者多数の場合は抽選となります

連絡方法

応募時のご連絡先にメールまたはFAXをお送りします。

その他

都議会議事堂1階都政ギャラリーにて、小笠原諸島についてのパネル展示を行います。詳細は裏面をご覧ください。

戦前父島・聖ジョージ教会での欧米系島民結婚式の様子

戦前の母島北村集落



写真提供／小笠原村教育委員会

50 小笠原諸島 周年記念シンポジウム 返還

東京都議会議事堂1階都民ホール

平成30年 5月24日(木)
午後0時30分開場
午後1時～午後5時



主催：東京都 共催：小笠原村 後援：国土交通省 実施：東京都小笠原支庁
問合せ先：シンポジウム事務局 【TEL】03-6804-1346 【FAX】03-6804-1348
【E-MAIL】ogasawara@astem-co.co.jp 【受付時間】9:00～17:00

入場無料
※事前申込制



菊地 俊夫氏

首都大学東京 都市環境学部教授
小笠原諸島振興開発審議会会長（国交省）



- 分野（研究内容）等
地理学、観光地理学
・地域の自然や文化や産業等の観光やツーリズムへの活用に関する研究、並びに持続的農村システムの構築等
- 主な著作
『自然ツーリズム学』 菊地俊夫・有馬貴之 編著 朝倉書店 / 2015年
『ツーリズムの地理学』 菊地俊夫著 二宮書店 / 2018年

石原 俊氏

明治学院大学
社会学部教授



- 分野（研究内容）等
歴史社会学、地域社会学、島嶼社会論
・小笠原群島と硫黄島の島民の歴史経験に関する研究
- 主な著作
『近代日本と小笠原諸島—移動民の島々と帝国』 平凡社 / 2007年
『〈群島〉の歴史社会学—小笠原諸島・硫黄島、日本・アメリカ、そして太平洋世界』 弘文堂 / 2013年

山田 吉彦氏

東海大学
海洋学部教授



- 分野（研究内容）等
海洋政策学、公共経済学、地域経済学
・海洋安全保障及び国境離島研究、並びに離島振興と海洋安全に関わる事象の調査・研究等
- 主な著作
『日本の国境』 新潮社 / 2005年
『日本は世界4位の海洋大国』 講談社+α新書 / 2010年
『国境の人々 再考・島国日本の肖像』 新潮社 / 2014年

森下 一男氏

東京都小笠原村 村長



- 略歴
小笠原村商工会青年部長
小笠原村観光協会副会長
小笠原村村議会議員（2期）
小笠原村村長（2003年7月～）

小笠原諸島に関するパネル等の展示を行います。

- ・小笠原の概要、地理、歴史の紹介
- ・小笠原の歴史等の写真
- ・小笠原の観光案内
- ・小笠原の特産品の紹介

日程：5月24日（木）～5月30日（水）

時間：9時～18時（初日は12時から、最終日は16時まで）

場所：都議会議事堂1階 都政ギャラリー



東京都議会議事堂 1階都民ホール

〒163-8001

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

最寄り駅▶JR「新宿駅」（西口から徒歩約10分）、
都営地下鉄大江戸線「都庁前駅」

A3出口から徒歩1分、

新宿駅西口（地下バスのりば）から都営バス又は
京王バス（都庁循環）「都議会議事堂」下車